

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-3「診断期間名」のクロス集計分析  
質問方法：

自分の病歴（診断期間名）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方が可俚になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおいいます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-3診断期間名			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	184 16.1	486 42.5	473 41.4	23
Q6病 気にか かった こと があ る	543 100.0	90 16.8	225 42.1	220 41.1	8
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	94 15.6	260 43.1	249 41.3	11

Q6 同 じ 病 気 に か か っ た こ と が あ る か か っ た こ と が な い	全体	Q18-3診断期間名			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
	全体	16	43	41	1166
	かかったことがある	17	42	41	543
	かかったことがない	16	43	41	614

<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって診断期間名のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問 6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問 18-4「診断医師名」のクロス集計分析質問方法：

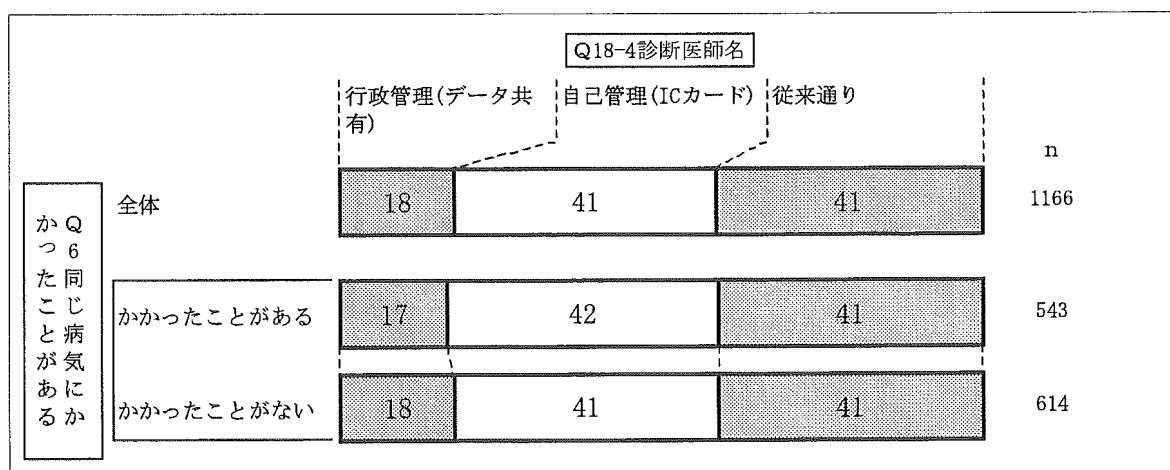
自分の病歴（診断医師名）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方可限になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおひます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-4診断医師名			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	204 17.9	467 41.0	469 41.1	26
Q6病 気にか かっ たこ とが あ る	543 100.0	93 17.4	221 41.5	219 41.1	10
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	110 18.3	245 40.7	247 41.0	12



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって診断医師名のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-5「検査名」のクロス集計分析

質問方法：

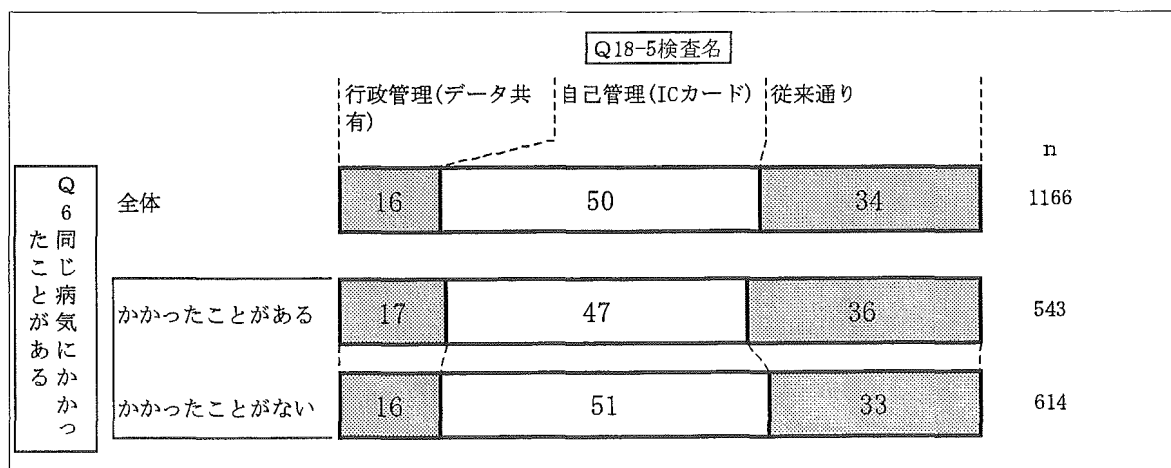
自分の検査歴（検査名）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方可俚になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおいます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-5検査名			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	186 16.3	563 49.3	394 34.5	23
Q6 病 気 か か っ た こ と が あ る	543 100.0	89 16.6	255 47.7	191 35.7	8
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	97 16.1	307 50.9	199 33.0	11



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって検査名のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-6「検査結果」のクロス集計分析  
 質問方法：

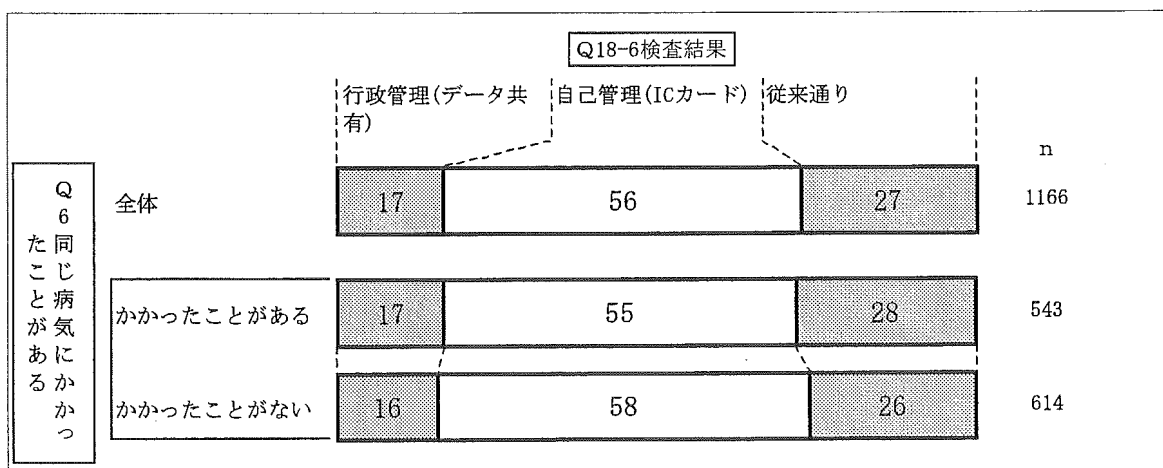
自分の検査歴（検査結果）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方可視になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおきます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-6検査結果			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	189 16.5	645 56.4	310 27.1	22
Q6病 気にか かっ たこ とが あ る	543 100.0	90 16.8	293 54.8	152 28.4	8
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	99 16.4	350 57.9	155 25.7	10



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって検査結果のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-7「検査機関」のクロス集計分析  
質問方法：

自分の検査歴（検査機関）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方が可俚になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおります。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-7検査機関			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28
Q6病 気にか かっ たこ とが あ る	543 100.0	95 17.9	227 42.7	209 39.4	12
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	108 17.9	259 43.0	236 39.1	11

		Q18-7検査機関			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
Q6 同 じ 病 気 に か か っ た こ と が あ る か か っ た こ と が な い	全体	18	43	39	1166
	かかったことがある	18	43	39	543
	かかったことがない	18	43	39	614

<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって検査機関のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-8「薬剤名」のクロス集計分析

質問方法：

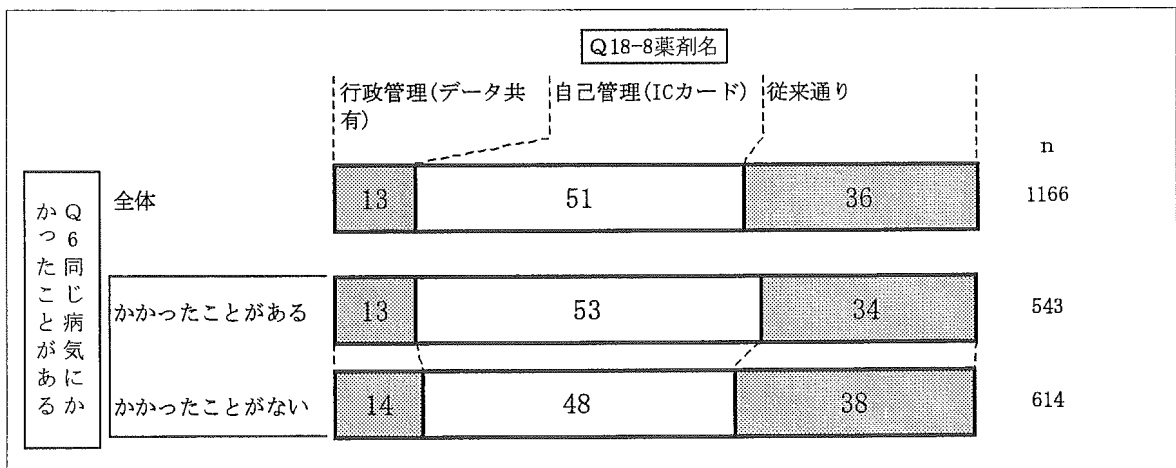
自分の投薬歴（薬剤名）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方が可俚になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおきます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-8薬剤名			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25
Q6病 気にか かっ たこ とが あ る	543 100.0	68 12.7	284 53.2	182 34.1	9
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	83 13.8	292 48.5	227 37.7	12



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって薬剤名のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問 6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問 18-9「薬剤のアレルギー歴」のクロス集計分析

質問方法：

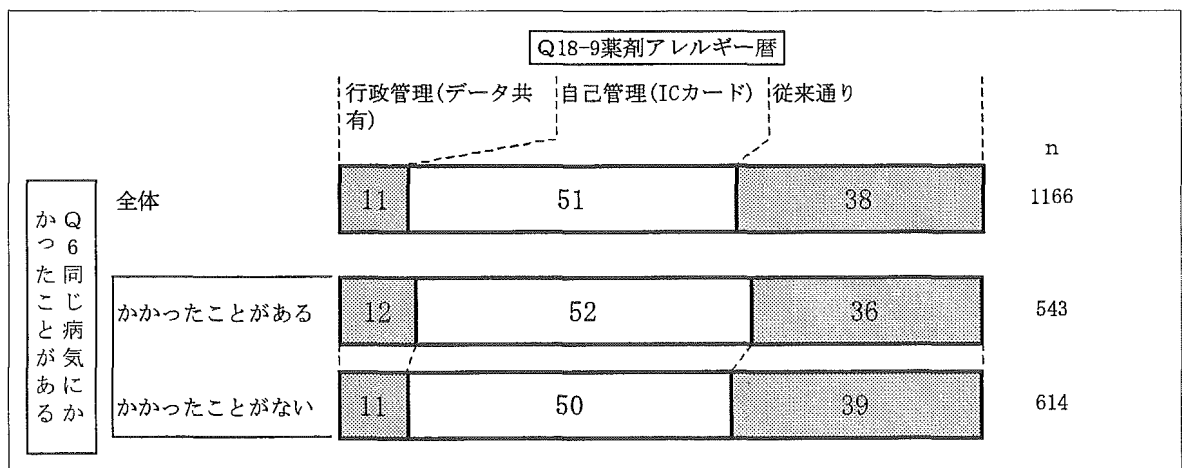
自分の投薬歴（薬剤のアレルギー歴）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方可狽になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおひます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

	合計	Q18-9薬剤アレルギー歴			
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体	1166 100.0	129 11.3	577 50.7	433 38.0	27
Q 6 病 気 に か か っ た こ と が あ る	543 100.0	62 11.7	276 52.1	192 36.2	13
同 じ 病 気 に か か っ た こ と が な い	614 100.0	67 11.1	300 49.7	237 39.2	10



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって薬剤アレルギー歴のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。

問6「同じ病気にかかったことがあるか否か」と問18-10「薬局名」のクロス集計分析

質問方法：

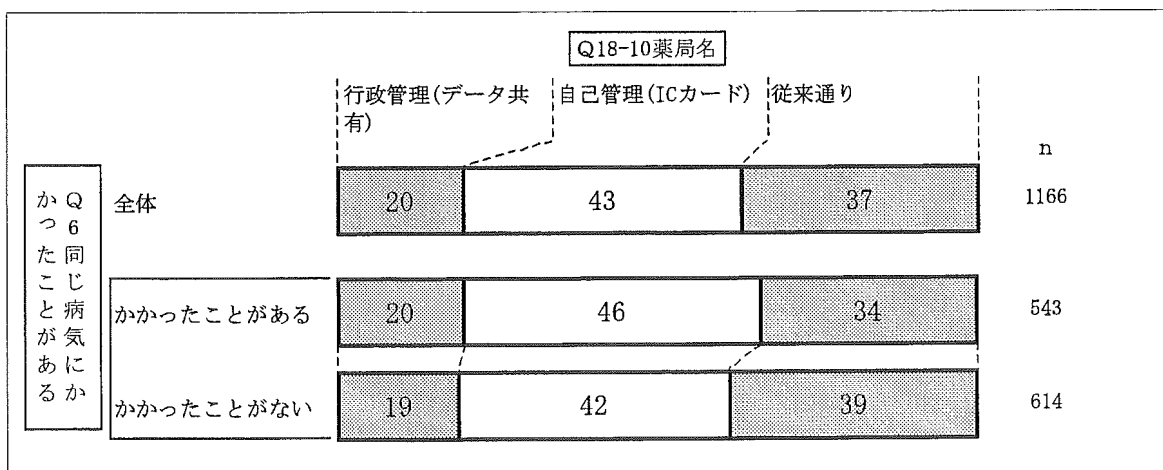
自分の投薬歴（薬局名）についての情報を共有すると、下記のようなサービスを受けられます。（患者自身の説明が省ける、適切な処置をスムーズに行える、重複検査がなくなる、検査のできない小規模医療機関でも結果を吟味できる、重複投薬がなくなる、体質に合った処方可猟になる）

あなたは、どのように医療情報を管理したいですか？

- a. 行政管理は、サービスの向上が期待できますが、情報漏洩のおそれがあります。
- b. 個人管理は、サービスの向上が期待できますが、カード紛失などの責任は個人がおきます。
- c. 従来通りは情報の共有がありませんので、サービスの向上は望めません。

「同じ病気にかかったことがあるか」

		合計	Q18-10薬局名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	222	492	422	30
		100.0	19.5	43.3	37.1	
Q6 同じ病 にか かっ たこ とあ るか	かかったことがある	543	106	242	182	13
		100.0	20.0	45.7	34.3	
同じ病 にか かっ たこ とな い	かかったことがない	614	115	249	237	13
		100.0	19.1	41.4	39.4	



<考察>

同じ病気にかかったことがあるか否かによって薬局名のデータ管理の望ましい方法にたいする見解はほとんどかわらないということが読み取れる。



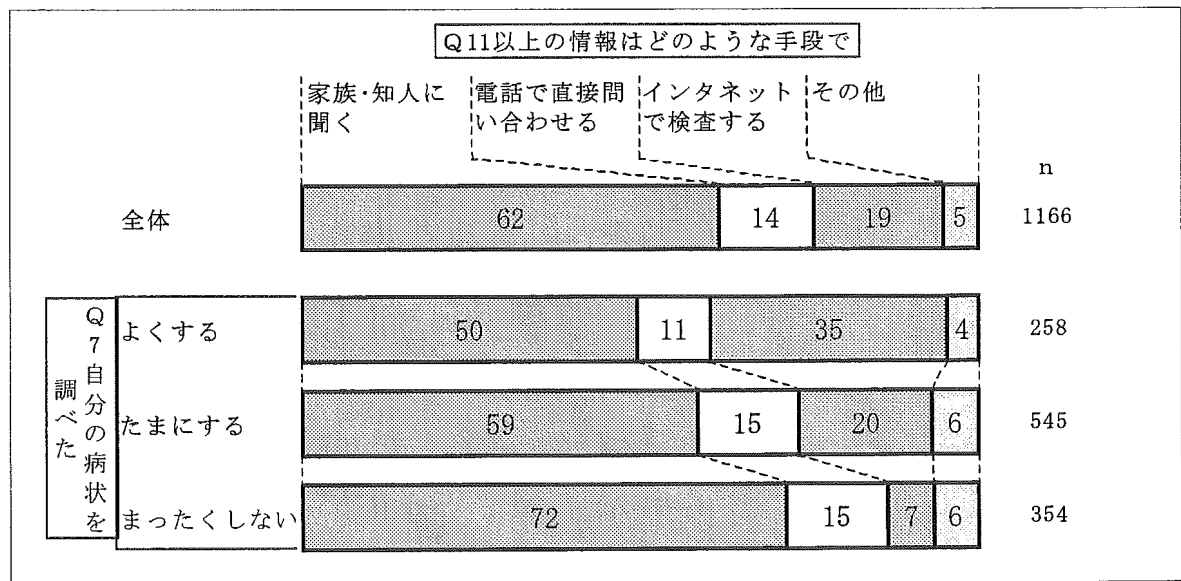
問7「自分の病状を調べた程度」と問11「調べた手段」のクロス集計分析

質問方法：

「以上のような情報をあなたは今まで主にどのような手段で手に入れていますか」

「どのような手段で」

		合計	Q11以上の情報はどのような手段で				不明
			家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他	
全体		1166	706	165	223	63	9
		100.0	61.0	14.3	19.3	5.4	
Q7を自分の病状を	よくする	258	128	28	91	11	0
		100.0	49.6	10.9	35.3	4.3	
	たまにする	545	321	81	107	31	5
	100.0	59.4	15.0	19.8	5.7		
	まったくしない	354	255	53	23	21	2
		100.0	72.4	15.1	6.5	6.0	



<考察>

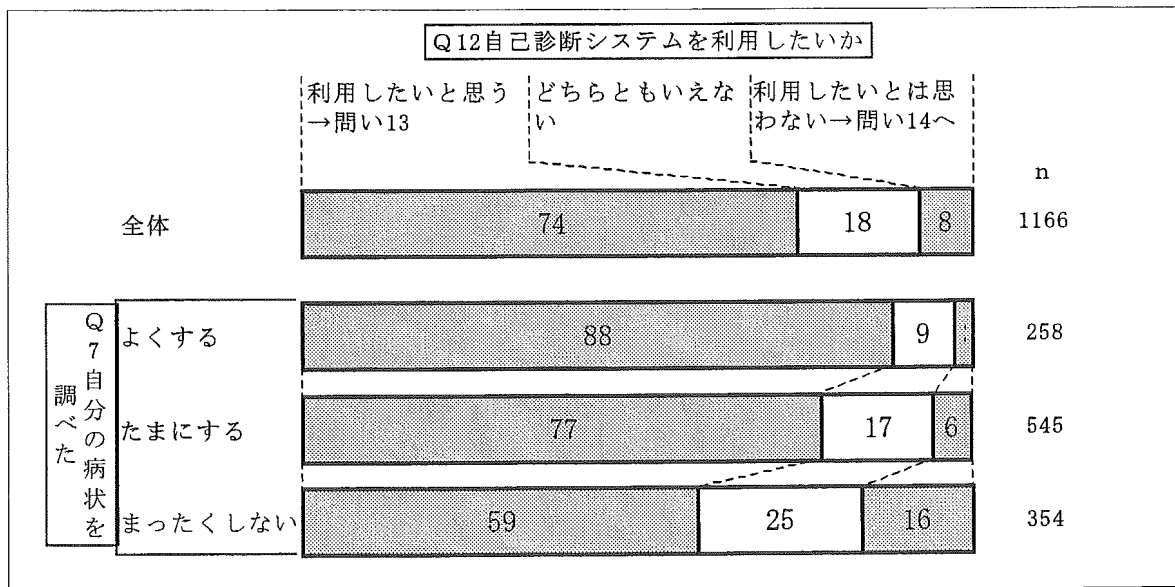
全体的に家族・知人に聞く人が最も多い。自分の病状を調べた人の中で、電話で直接問い合わせるよりインターネットで検査する人のほうが多く見える。特に、よく調べた人の中で、インターネットを使う人が電話を使う人より三倍以上多い。しかし、まったく調べない人の中で、電話を利用する人はインターネットを使う人より多く見える。自分の病状に対する関心が高い人はよくインターネットで検査しているのではないと思われる。

問 7「自分の病状を調べた程度」と問 12「自己診断システムを利用したいか否か」のクロス集計分析

質問方法：

「あなた自身や家族の体調が悪い時に、インターネット上で公的な機関が提供する、ある程度の病状を「自己診断できる仕組み」があるとします。あなたは利用したいと思いますか。」  
「利用したいか否か」

		合計	Q12自己診断システムを利用したい			
			利用したいと思う →問13	どちらともいえない	利用したいとは思わない →問14へ	不明
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
Q7を 自調 べた の病	よくする	258 100.0	228 88.4	23 8.9	7 2.7	0
	たまにする	545 100.0	420 77.5	90 16.6	32 5.9	3
	まったくしない	354 100.0	206 58.2	90 25.4	58 16.4	0



<考察>

自分の病状を調べた程度にかかわらず、「自己診断システムを利用したいと思う」と答えた人が圧倒的に多い。特に、よく自分の病状を調べた人の中で、利用したいという要求

が強く見られる。それに対して、「利用したいと思わない」と答えた人が非常に少なく見える。よって、自己診断システムが必要であると感じられる。

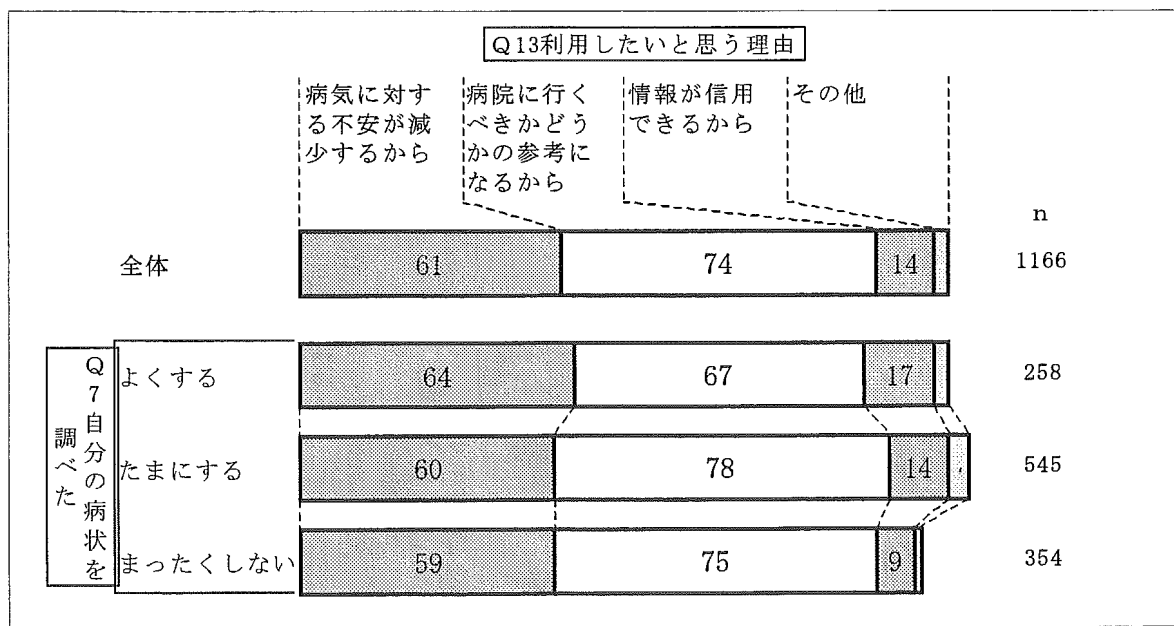
問7「自分の病状を調べた程度」と問13「利用したいと思う理由」のクロス集計分析

質問方法：

「利用したい」と思う理由は何ですか。」

「利用したい理由は」

	合計	Q13利用したいと思う理由					不明	非該当
		病気に対する不安が減少するから	病院に行くべきかどうかの参考になるから	情報が信用できるから	その他			
全体	1166 100.0	533 60.9	647 73.9	120 13.7	26 3.0	0	291	
Q7を自分の病状を調べた	よくする	258 100.0	148 64.3	153 66.5	38 16.5	7 3.0	0	28
	たまにする	545 100.0	256 60.0	333 78.0	61 14.3	17 4.0	0	118
	まったくしない	354 100.0	126 58.9	160 74.8	20 9.3	2 0.9	0	140



<考察>

全体的に、「病院に行くべきかどうかの参考になる」を選んだ人は最も多い。そして、病気に対する不安が減少するため、利用したいと思う人も少なくない。それに対して、情報が信用できるからと答えた人がかなり少ない。

患者は「病状」と「病院に行く必要か」に対する関心が高いということは分かる。こういう面の情報を提供する自己診断システムが求められている。

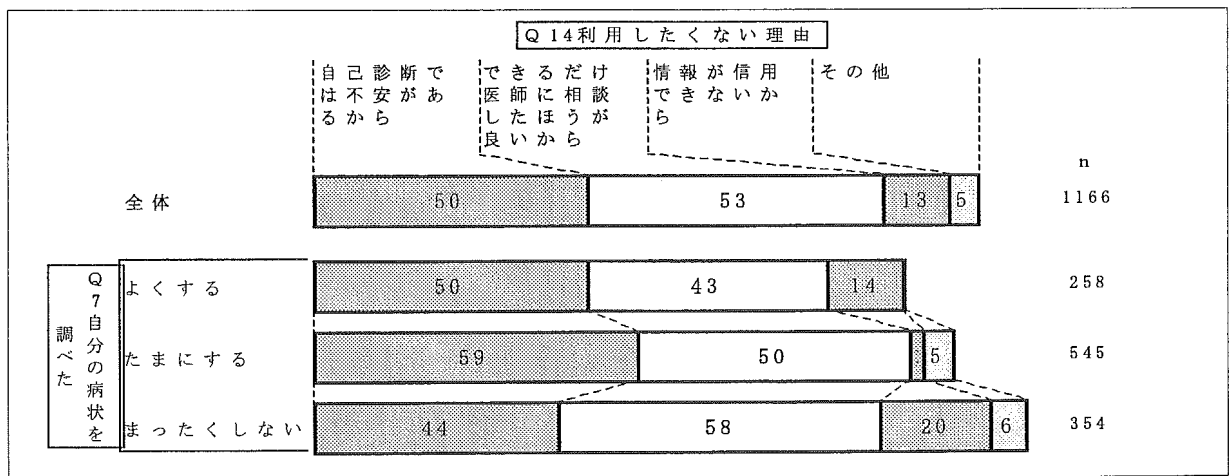
問7「自分の病状を調べた程度」と問14「利用したくない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「利用したくないと思う理由は何ですか。(複数回答可)」

「利用したくない理由は」

	合計	Q14利用したくない理由					
		自己診断 では不安 があるか ら	できるだ け医師に 相談した ほうが良 いから	情報が信 用できな いから	その他	不明	
全体	1166 100.0	63 50.4	66 52.8	16 12.8	6 4.8	0	
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258 100.0	7 50.0	6 42.9	2 14.3	0 0.0	0
	たまにする	545 100.0	26 59.1	22 50.0	1 2.3	2 4.5	0
	まったくしない	354 100.0	29 43.9	38 57.6	13 19.7	4 6.1	0



<考察>

全体的に「できるだけ医師に相談したほうが良い」と答えた人が最も多く見えるが、自分の病状を調べた人の中で、自己診断では不安があると思う人のほうが多い。情報自体を信じないから利用したくないと思う人は最も少ない。

自分が専門家ではないため、情報を信じ、自己診断してもやはり不安がある。したがって、自己診断の不安を解除することができるシステム、つまり安心できるシステムが求められる。

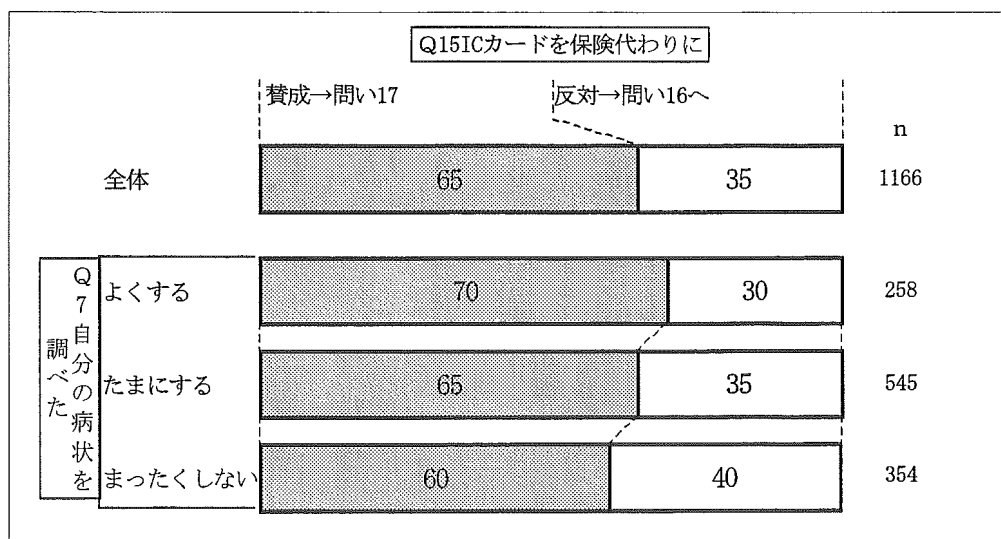
問7「自分の病状を調べた程度」と問15「保険代わりができるICカードに対する態度」のクロス集計分析

質問方法：

「もしICカードが保険証の機能を兼ね備えていたなら（ICカードに保険証の内容が入っている）、ICカードで保険証の機能が果たせ、また保険証の内容を個人単位で管理し、コンパクトに持ち運べるなどの利便性があります。このようにICカードに保険証の機能を組み込むことについて、どのように思いますか。」

「あなたの態度は」

		合計	Q15ICカードを保険代わり		
			賛成→問 い17	反対→問 い16へ	不明
全体		1166	750	410	6
		100.0	64.7	35.3	
Q7を 自分 の病 状を 調べ た	よくする	258	181	77	0
		100.0	70.2	29.8	
	たまにする	545	354	189	2
	100.0	65.2	34.8		
	まったくしない	354	211	141	2
		100.0	59.9	40.1	



<考察>

全体的に反対する人より賛成する人のほうが多い。特に自分の病状をよく調べた人の中で、賛成する人の割合は反対する人の二倍以上となる。しかし、こういう差は全く調べない人の中で、あまり著しくない。つまり、自分の病状に対して、強い関心を持っている人はより簡単・便利な手段を使いたいことは分かる。

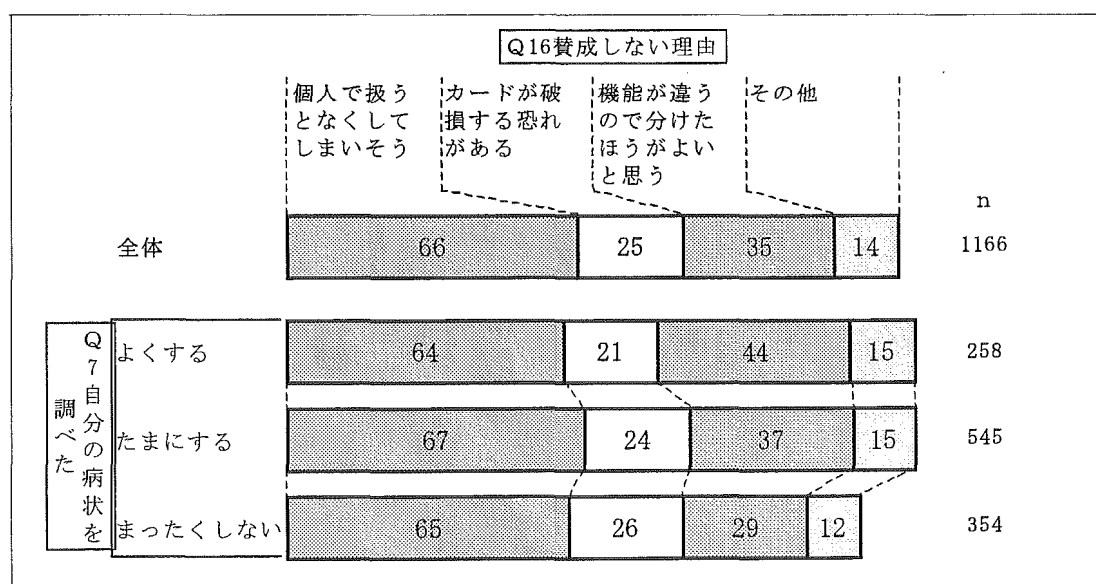
問7「自分の病状を調べた程度」と問16「賛成しない理由」のクロス集計分析

質問方法：

「賛成しない」理由は何ですか。(複数回答可)

「賛成しない理由は」

	合計	Q16賛成しない理由					不明	非該当
		個人で扱 うとなく してしま いそう	カードが破 損する恐 れがあ る	機能が違 うので分 けたほう がよいと 思う	その他			
全体	1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758	
Q7を 自調 分べ のた 病	よくする	258 100.0	48 64.0	16 21.3	33 44.0	11 14.7	0	183
	たまにする	545 100.0	127 67.2	46 24.3	69 36.5	28 14.8	0	356
	まったくしない	354 100.0	92 65.2	37 26.2	41 29.1	17 12.1	0	213



<考察>

全体的に、個人で扱うとなくしてしまいそうという理由で賛成しない人が最も多い。機能が違うため分けた方がよいと思う人も少なくない。しかし、「非該当」の人数が非常に多いので、その理由と構成を検討する必要があると思う。

カードが破損・紛失する恐れがあるため反対する人の割合が相当高いので、その対策があれば賛成する人が増えると予想される。

問 7「自分の病状を調べた程度」と問 17-1「身長に関する情報の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分が受けた健康診断などの情報の管理について伺います。—あなたは、どのように自分の身長に関する情報を管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいか」

		合計	Q17-1身長			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	272 26.9	518 51.3	220 21.8	156
Q7を 自調 べた の病	よくする	258 100.0	66 28.7	118 51.3	46 20.0	28
	たまにする	545 100.0	122 26.0	245 52.1	103 21.9	75
	まったくしない	354 100.0	83 27.3	153 50.3	68 22.4	50

		Q17-1身長			
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	n
全体		27	51	22	1166
Q7自 調べ た の病 状を	よくする	29	51	20	258
	たまにする	26	52	22	545
	まったくしない	27	51	22	354

<考察>

身長に関する情報については、全体に自己管理したいと思う人の割合が高い、半分以上となる。身長に関する情報がプライバシーであるため、他の人に知らせたくないというのは一因ではないかと思われる。そして、ICカードがなくなって再び身長をはかってもあまり難しいことではないので、自己管理と希望する人は数が多いのである。行政管理と従来通りを希望する人の割合がほぼ同じ。

しかし、答え不明な人の数が多いので、不明の原因を検討する必要があると思う。



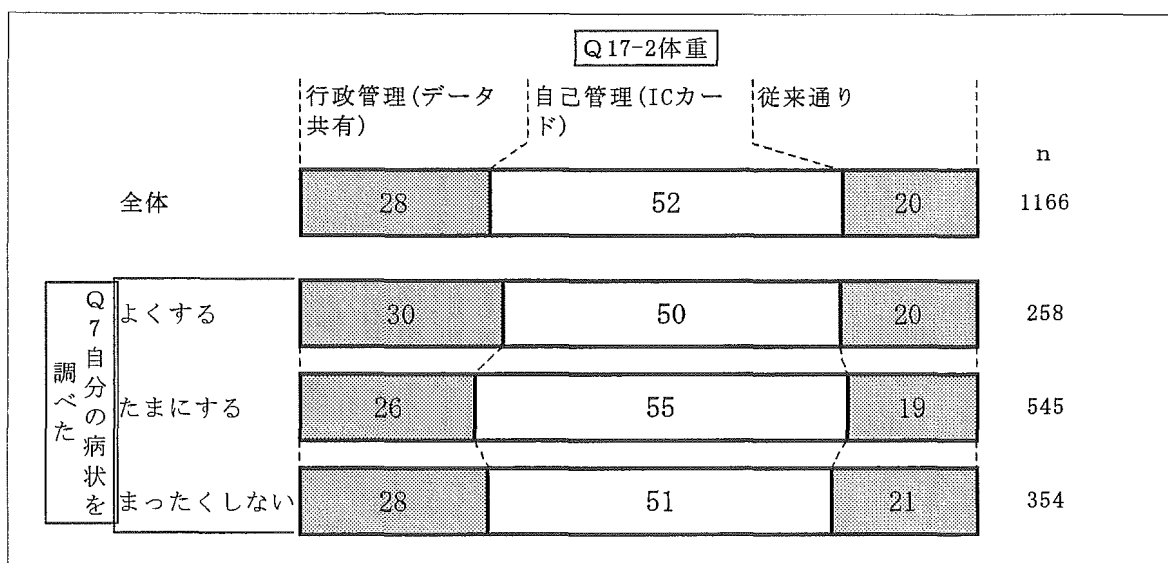
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 17-2「体重に関する情報の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分が受けた健康診断などの情報の管理について伺います。—あなたは、どのように自分の体重に関する情報を管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいか」

	合計	Q17-2体重				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	278 27.6	529 52.5	200 19.9	159	
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258 100.0	69 30.0	116 50.4	45 19.6	28
	たまにする	545 100.0	124 26.4	256 54.6	89 19.0	76
	まったくしない	354 100.0	84 27.8	155 51.3	63 20.9	52



<考察>

体重の情報については、自己管理したい人の割合は他より高い。体重に関する情報はプライバシーであるため、他の人に知らせたくないのはその一因であろうと推測する。そして、ICカードの破損・紛失のため、情報がなくなって再びはかってもあまり難しいことではないのも一因になるかもしれないと思う。行政管理をしたい人は従来通りより割合がやや高く見える。

答え不明な人の数は比較的が多い。特にたまには自分の病状を調べた人の中で最も多い。

それに対してよく調べた人の中に、答え不明な人は比較的に少ない。よって、よく自分の病状を調べた人は自分の情報管理に対する関心が高いと思われる。

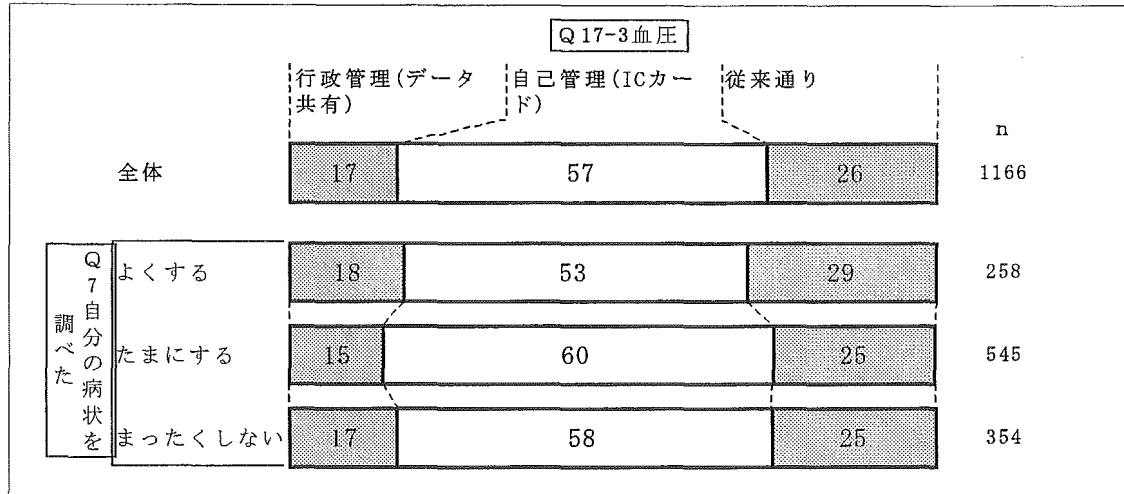
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 17-3「血圧に関する情報の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分が受けた健康診断などの情報の管理について伺います。—あなたは、どのように自分の血圧に関する情報を管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいか」

		合計	Q17-3血圧			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	168	577	265	156
		100.0	16.6	57.1	26.2	
Q7を 自調 分べ のた 病	よくする	258	41	123	66	28
		100.0	17.8	53.5	28.7	
	たまにする	545	72	279	120	74
	100.0	15.3	59.2	25.5		
	まったくしない	354	53	173	77	51
		100.0	17.5	57.1	25.4	



<考察>

血圧に関する情報については、自己管理をしたいと思う人のほうが多く見える。血圧に関する情報がプライバシーであるため、他の人に知らせたくないのはその一因になるだろうと推測する。そして、万一ICカードの破損・紛失のため情報がなくなって、再び血圧をはかってもあまり手数かからないことも一因ではあろうと考える。従来通りに管理したい

人は行政管理を希望する人よりやや多く見える。血圧情報は身長・体重と違い、専門的な性質があるため、従来通りに管理したいということはその一因ではないだろうと思う。そして、答え不明の人数がやや多い。特に自分の病状をたまに調べた人の中に最も多い。それに対してよく調べた人の中に比較的少ない。よって、自分の病状に関心がある人は、自分の医療情報管理に対しても関心を持っていると思われる。